

令和元年度 多面的機能発揮促進事業
中国四国農政局長表彰 優秀賞組織（鳥取県）

【多面的機能支払】

しみずがわのうち みず かんきょうほぜんこうじょうたいさくきょうぎかい とっとりけんなんぶちょう
「清水川農地・水・環境保全向上対策協議会」（鳥取県南部町）

(1) 認定農用地面積：7.6ha
(田：7.6ha、畑：0ha)

(2) 組織構成：
1集落（農家13戸、非農家21戸）
農業者、農事組合法人、自治会、子供会で構成



【地区の概要】

本地区は南部町北部に位置する平野部の田園地帯です。

人口減少、高齢化の進行に伴い、農業従事者が減少傾向にあるなか、地域農業の将来に不安を感じ、地区内の農地維持活動を集落全体で行い、地域の美しい農村環境を守ることを目的に、清水川集落で農事生産組合を中心組織とした本協議会を立ち上げ、平成20年度より活動を続けています。

平成30年1月には、構成員の活動を継続しつつ農事生産組合を経て合同会社を設立し、農地の集積を図る一方で、地域のつながりをより深めるための地域コミュニティ活動を活発に行い、その参加者は年々増加しています。

また、本協議会の代表者を含め女性が中心となって活動を推進するなど、地域において積極的に女性が活躍しています。

【主な取り組み内容】

- 毎年、4月には農家による排水路の泥上げ及び草刈り、6月から8月にかけては非農家も一緒になり農道や排水路の草刈りを実施しています。
また、推進活動として地区内の農業者を対象に実施した「将来的な営農に関する意向」についてのアンケート調査の結果に基づいて、農地中間管理事業を活用し、地域の中心経営体である「合同会社 清水川」への農地集積を進めた結果、農地集積率が過半数を超え、遊休農地を抑制するなど、組織の取組が集落内の農地の集積・保全に貢献しています。
- 毎年4月に農地や農業用施設の調査・点検を行い、必要に応じて地域全体で補修を行っています。また、平成12年の鳥取県西部地震によって生じた水路の凹凸を長寿命化の取組で布設替えしています。
- 地域のつながり強化を目的に、水路の生物調査や学生ボランティアなど地域外の団体も参加して、清水井（地域にある泉）に伝わる神話になぞらえ、泉の水が最初に注ぐ水田で古代米の栽培をしています。
過疎化、高齢化が進み保全管理活動への参加者が減少しつつあることから、活動の効率化・省力化を図るとともに、地域維持のために、地域内外の非農家とのつながりをより深める活動をしていきたいと考えています。



水路の泥上げ作業



子供による生物調査



古代米の田植